**職 務 経 歴 書**

20◯◯年◯◯月◯◯日現在

氏名　○○ ○○

**■職務経歴概要**

大学卒業後、◯◯株式会社へ入社。設計部に配属。CADオペレーターとして作図業務に3年間従事した後、注文住宅の設計業務へ業務変更。20◯◯年には一級建築士を取得。

施主とのコミュニケーションを重視しながら、お客様に喜んでいただけるような設計を心がけてまいりました。

**年収を上げる職務経歴概要作成のポイント：経歴の要点のみを短く分かりやすくまとめる**

職務経歴概要は一読しただけで、これまでの経験が分かるようにまとめることがポイントです。何度も読み直して、余分な文章をそぎ落とした内容にしましょう。

職歴が複数ある場合も、長くなりすぎないように気をつけることも大切です。エントリーする企業が求職者に求めるスキルについても考慮しながら、最適な経験を選び書き出しましょう。

**20◯◯年◯◯月　○○株式会社入社　　　（在職期間：　◯年◯◯ヶ月）**

　事業内容：建築事業、住宅販売事業、不動産賃貸業、

　従業員：◯◯名　　売上：◯◯◯◯円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **勤務期間** | **業務内容** | **職場環境** | **役職** |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | CADオペレーター業務・2-CAD操作（アーキトレンド）業務・資料作成（エクセル、ワード）・定例会議参加等【特記事項】1年間でCADによる作図技術を習得。2年目以降は新人指導も対応。 | CADオペレーター：3名 | 一般社員 |
| 20◯◯年◯◯月　～　20◯◯年◯◯月 | 建築設計業務・注文住宅設計・施主からのヒアリング・代案の提案・CGを用いた外装、内容設計【特記事項】施主の要望をしっかりと聞き出し、納得いただける最適な設計をすることを心がけ、対応してきました。 | 住宅設計部：8名 | 主任 |

**年収を上げる職務経歴作成のポイント：業務内容は箇条書きで見やすさを重視**

建築系設計職としての職務経歴を書く場合、業務内容はアピールしたい内容から順番に、箇条書きにしていきましょう。

また具体的に使っていたソフトやツールは、書類選考で採用担当者がチェックする箇所でもあるので漏れなく記載しておくことがポイントです。

一社で業務内容に大きな変更があった場合、期間に分けてそれぞれの業務内容を書くことでより正確に経験をアピールすることができます。

■**これまでの経験・技術・知識**

・CAD操作

・建築設計

・提案書、プレゼン資料作成（Word、PowerPoint）

・管理表作成（Excel、vlookup、ピボットテーブル）

**■取得資格**

20◯◯年◯◯月　普通自動車免許

20◯◯年◯◯月　一級建築士

**■自己PR**

私はこれまでCADオペレーターとしてキャリアをスタ―トし、一級建築士となってからは20件の注文住宅の案件に携わったきました。

全ての案件について施主との対話を重視したことで、顧客満足度は96％と非常に高くクレームの発生はほとんどございません。

私の強みは施主の要望を掴み、本人が言語化できない部分まで設計を通して形にできるところにあると考えております。

また高齢者の方の住宅にも複数件携わったことで、バリアフリーなど、福祉を取り入れた住宅設計も担当させていただきました。

今後も建築士としてスキルアップに励みながら、御社の事業へ貢献させていただきたい所存です。

**年収を上げる自己PR作成のポイント：一番の強み何なのか、経験をアピールする**

建築系設計職の自己PRでは、経験してきた業務が直接スキルの証明にもなります。自己PRを作成する際は、これまでの経験を棚卸して、エントリーする企業のニーズにあった経験をPRしていきましょう。

そして具体的にどのようにして強みを身につけることができたのか、もしくは普段の業務で工夫していることを書くと、より採用担当者の興味を惹く自己PRにすることができます。

また将来の方向性やキャリアプランが明確にある場合は、その内容も加えておきましょう。

建設系設計職、建築士として年収アップを目指すなら、図面作成の技術として3次元CADのスキルが役立ちます。アナログの図面作成スキルも当然必要ですが、3次元CADのスキルもあることで、評価される可能性はより高くなります。

資格に関しては一級建築士が役立ちます。二級建築士よりも一級建築士の方が確実に稼ぐことができるため、年収アップを狙うなら一級建築士の取得も目指しましょう。